

ボウズハゼ (ハゼ科)

体長約 30 mm の稚魚 (標本写真)

学名 : *Sicyopterus japonicus*

別名 : ドンカチ, ボウズゴリ, ナメラ, ナンベラボウズなど

大きさ : 12 cm

特徴 : 体は細長い円筒形。吻が短く、口は下に向けて開く。体色は灰褐色で暗色横帯が入る。稚魚の頃の体色は無色透明な地色に背面から体側にかけて暗色横帯が入る。写真の個体の体の地色はクリーム色であるが、これはホルマリン標本のため。

両側回遊魚で、産卵は河川の石の下などで行う。ふ化した仔魚は川を降り、仔稚魚期を海で過ごす。河川に遡上してからは附着藻類などを削り取って食べる。

国内の分布 : 茨城県以西の本州太平洋側、四国および九州の太平洋側、琉球列島

県内の分布 : 那珂川水系や久慈川水系。県北地方の河川では 1980 年頃に十王川の日立電線工場付近で採捕された記録がある。霞ヶ浦での採捕記録もある。しかし、茨城県はボウズハゼの分布の北限であることから生息数は少ないと思われる。

県内での生態 : 那珂川と潤沼川の合流点では 4 月頃に体長約 30 mm の稚魚が採捕されており、この頃に河川に遡上してくると考えられる。

備考 : 茨城県版レッドデータブックで希少種に選定されている。

主な文献 :

中村 誠・杉浦仁治 (2001) 潤沼産魚類の追加. 茨城内水試調査研究報告, 36: 36-40.

位田俊臣・大川雅登・佐藤陽一 (1982) 茨城県河川の魚類目録-II 十王川および花貫川. 茨城内水試調査研究報告, 19: 86-91.

レイモン・アザディ (1983) 茨城の淡水魚. 筑波書林, 土浦. 93 pp.